

令和4年度第2回小牧市交通安全・防犯対策協議会会議記録

- 1 開催日時 令和4年10月11日(火)
午前10時00分～午前10時55分
- 2 開催場所 小牧市役所 本庁舎6階 601会議室
- 3 出席者 野々川和明 外17名
《事務局》
市民生活部長、市民生活部次長、市民安全課長、
市民安全課主幹、交通防犯係長、交通防犯係
《小牧警察署》
小牧警察署交通課長、生活安全課長
- 4 報 告 (1) 小牧市における交通事故及び犯罪発生状況について
(2) 「交通安全」「防犯」ポスター・標語の選定について
(3) 交通防犯マグネットについて
(4) 各団体の推進したい活動等について
- 5 議 題 「まちを安全安心にキャンペーン in 小牧」の参加者募集について

6 議事内容 (長縄課長)

本日は、大変お忙しい中ご出席いただき厚くお礼申し上げます。それでは、只今から、令和4年度第2回小牧市交通安全・防犯対策協議会を開催いたします。本日の司会を担当します市民安全課長の長縄です。よろしくお願いします。

会の開催に先立ちまして、コロナ禍前は市民憲章の唱和をお願いしていましたが、感染症予防のため次第裏面の市民憲章及びこども夢・チャレンジ No.1 都市宣言の紹介に変えさせていただきますので、ご覧いただきますようお願いいたします。

次に、議事に入ります前に報告させていただきます。当協議会は、「小牧市交通安全防犯対策協議会規則」の第5条に基づき、公開が原則となっておりますが、本日は傍聴者がおりませんでしたので、傍聴者不在で進行させていただきます。

それでは、野々川会長からごあいさつをいただきます。

(野々川会長)

改めまして、おはようございます。ちょうど今日は、安全なまちづくり県民運動の始まる最初の日となります。

委員の皆様はお忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。なお、警察署の交通課長、生活安全課長、ご臨席をいただいております。ご多忙の中、大変ありがとうございます。

日頃より、委員の皆さんには、各お立場で、交通安全・防犯に関する様々な事業について、ご協力をいただいておりますことを重ねて厚く御礼を申し上げます。

最近、マスコミなどを見ておりますと、大型の自動車の事故が多く、防犯の関係については、最近だまし取ると言うのが増えています。皆さんがいろいろな形で広報していただいて、気をつけていただければありがたいと思います。

本日様々な報告事項、議事を協議していただくこととなりますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。

(長縄課長)

ありがとうございます。以降の議事進行を会長にお願いします。

(野々川会長)

お手元の次第に基づき、議事を進行させていただきます。それでは、次第1の報告をお願いします。

(稲垣交通課長)

それでは小牧市内の交通事故の発生状況についてご説明をさせていただきます。

(1)人身交通事故について、令和4年8月末現在の人身交通事故、確定数で愛知県内で人身事故の件数が1万5144件、マイナス284件、増減率がマイナス1.8となっておりますが、これは参考ですけれども昨日現在、まだ確定はしておらず暫定数ですが、愛知県内の人身事故の発生件数は1万7765件となっております、増減数がマイナス132件、増減率がマイナス

0.7ポイントです。

右どなりの小牧市内ですが、まず8月末現在の確定数につきましては、発生数が346件、増減数がプラス24件、増減率がプラス7.5ポイントですが、これも暫定数で昨日現在では、発生数が393件、増減数が31件プラスで、増減率がプラス8.4ポイントです。

また死者数につきましてはニュース等でご存知の方が多いかと思いますが、愛知県内で100件になってしまい、プラス20件となります。8月末現在では87件、増減数がプラス19件、増減率がプラス27.9ポイントとなります。

小牧市内はおかげさまで発生はゼロになっており、昨年1名でしたが昨年比マイナス1となります。負傷者数はご覧の通り8月末現在の確定数が、それぞれ記載されております。

続いて(2)月別死傷者数です。棒グラフを見てください。黄色が令和4年、青色が令和3年です。今年は、5月にはね上がりましたが、7月に少し上がり、また下がってきている状況です。例年過去5年を見ても、これから10,11,12月のこの3ヶ月間につきましては交通事故件数が、跳ね上がるという傾向にあり、非常に危惧をしているところであります。

続いて(3)死傷者数の年別推移について、平成25年の934件から令和3年386件と年々下がっております。令和4年につきましては、もう400件となっておりますので、警察、関係団体等々と一緒になって頑張っているところであります。

(4)学区域別死傷者数につきましては、この棒グラフを見ますと高いところについては、主要道路が多く通っているところという特徴があります。どうしても道路が広いと、車の速度も速くなり、それで事故も多くなるというような傾向があります。

続いて、(5)の(1)当事者別ですが、四輪車と自転車の事故が多く、原付自動二輪歩行者等ありますけれどもその中でも、四輪車と自転車の事故が突出しています。今年につきましては、自転車も四輪車も去年と比べると増加をしております。

(2)の事故類型別について、出会い頭の事故が非常に多くなる傾向にありますが、特に信号機のない交差点での出会い頭の事故が起こっています。

続いて(3)の道路形状別については、交差点内の事故が多く、駐車場

の内の事故もありますが、単路と交差点、中でも交差点の事故がやはり多いという傾向にあります。

続いて（４）の年齢層別については、子供が０歳から１５歳、若者が１６歳から２４歳、一般が２５歳から６４歳、高齢者が６５歳以上に分けてあります。この円グラフを見ますと高齢者の事故が非常に多くなっております。

次に（４）-１で、高齢者が当事者になった割合ですけれども、自転車、四輪車の事故が多くなっています。また、道路を歩いているときに事故に遭ったという状況も非常に多くなっています。自転車の件数が去年と比べると増えており、歩行者も同じような状況です。これからも増える可能性が非常に高いため、非常に心配しているところです。

次に（５）時間帯別です。時間あたりにつきましては、夕方と前夜を合わせると非常に多くなります。これから来年の３月までは、夕方暗くなる時間が非常に早いということで、反射材をつけていただいたり、早めのライト点灯等と呼ばひかけて、事故が減るように、広報をしております。また、右下に書いてありますように、夕方の５-７時の“魔の時間”を周知徹底して、皆さんに気をつけていただこうということで広報しております。

最後は（６）法令違反別です。第１原因の事故について、いろいろな違反が原因で事故になったというところを抜き出しております。歩行者妨害が原因になって事故になるというのが多いのと、あと前方不注視等の原因で事故になることが多いというような傾向があります。

小牧市内はおかげさまで死亡事故がゼロで移行しており、いまだかつて年間を通じて死亡事故がゼロだったという年がありませんので、何とか今年１年間、０で抑えて、新しい記録を達成したいと、署員一同も頑張っておりますので、皆様のご協力をお願いしたいと思います。

（永井口生活安全課長）

小牧市における犯罪発生状況という資料に沿って、ご説明をさせていただきます。

まず１の過去５年間の刑法犯認知件数の推移について、さかのぼってみても右肩下がりにどんどん下がっていているとは思いますが、今年の９月末暫定値で見ますと、６２１件ということで、前年の同期と比べてみても９件プラスに転じています。平成１５年をピークに、平成２０年の頭に一度

前年比で増加した年もありますが、右肩下がり減少傾向にあったところ、今年に入って、少しコロナが落ち着いたせいなのか、増加に転じています。ただ増加はわずか9件なので、何とか皆さんのご協力いただきながら抑止して、年が終わる頃には前年対比で減少にもっていきたいと思っております。

続いて2の主要罪名等の占有率をご覧ください。約半分以上が、窃盗犯に占められています。中でも自転車盗や万引きの占める割合が大きくて三分の1となっています。増加した9件見てみますと、前年比で増えている犯罪が、自動車盗、車上ねらい、部品ねらい、いわゆる自動車関連窃盗というものが増加傾向にありまして、三つで76件、前年比で33件増えていますので、何とか減らせていけたらと考えています。よくあるのが無施錠の状態でお店や自宅にとめていて、車の中から財布や鞆を持って行かれたっていうのが結構多発しています。例えばコンビニに入る時、5分にも満たないからっというて、鍵をかけてない方が結構おみえになりますが、短時間でも、自宅や会社でも、どこでも鍵をかけていただいて、車の助手席に鞆が置いてあるとすぐ見えてしまうものですから、犯罪を誘発しないためにも、見えるところに鞆・財布を置かないようにということを、皆様からも、周りの方にも広めていただきたいなと考えております。

続いて3の住宅対象侵入盗については、大きく減っています。認知件数に占める割合自体は高くないですが、一番くつろげる場所であるはずの自宅に進入されるということ自体が、とても不安感の大きい犯罪なので、何とか、これも防いでいかなければいけないなと思います。

そして4の特殊詐欺については、統計が間に合わなくて8月末現在の数値にはなるんですけれども、やや減少傾向にあります。昨年令和3年中が23件で前年比16件増加と急増した年でしたので、昨年対比で見ると、若干減少傾向にはあるものの、8月末ですでに11件の被害が発生しています。9月末現在で見ると、15件しか起きていませんが、被害金額が約4500万円で、1件当たりの被害が非常に大きい犯罪で、市民の皆さんの不安感も大きい犯罪です。これはすべて、電話に出ることでだまされています。市民安全課と協力して、何とか防げないかということで、迷惑電話防止機能付の電話機を導入していただけると、かなりの確率で防げるため、対策機器の普及促進活動を図っております。65歳以上の方が9割を占め

る犯罪で、今回だまされている方の中には、今年の頭にも実は 1 回だまされてるという方もみえ、間違いないと思って支払ってしまうこともあるなど、啓発の声が届きにくい方たちを対象とした犯罪になっていますので、何とか物理的に阻止できないかと考えています。

また電話対策、対策機器を何とか導入してくれるようにと普及促進を図っていきたいと思います。

最後に一番下では県内における小牧市の状況となり、名古屋市と町村を除いた県内の市で比べています。刑法犯認知件数が 7 位で 546 件、侵入盗で見ると、14 位で 28 件、ただ犯罪率で見ると若干上で、千人当たり 3.7 件の被害となっていますので、冒頭にも申し上げた通り、まだまだ減少傾向に持っていけるのではないかと考えています。本日 10 月 11 日から 20 日までの 10 日間、秋の安全なまちづくり県民運動期間中ですので、広く広報啓発を図って参りたいと思いますので、皆様、地域の防犯リーダーとして、お力添えをいただければと思います。

（林交通防犯係担当）

報告事項(2)「交通安全」「防犯」ポスター・標語の選定についてです。前回の対策協議会で報告しましたが、交通安全・防犯について関心を深めてもらい、広く市民に呼び掛け、意識向上を図るため、小中学生から夏休み期間に「交通安全」「防犯」のポスター・標語を募集しました。ポスター 725 点、標語 324 点の多数の応募があり、事務局でポスター 36 点、標語 30 点にしばらくさせていただきました。その中から、本日「特別賞」各 5 点・「入選」各 15 点以内を選定させていただきます。標語については、本日提出いただいた委員の皆様の採点を元に、決定します。ポスターは、本日優秀なポスターにシールを貼っていただき、その結果をもとに決定します。同点の場合等は、事務局に一任頂き、小牧警察署とも相談の上、決定します。

なお、特別賞は巡回バス「こまくる」にラッピングをします。標語についても、巡回バスの車内広告に活用予定です。また、啓発品等にポスターの絵を印刷したり、標語を印字予定です。また、特別賞・入選ともに、表彰状及び記念品を贈呈予定です。また、11/19, 11/20 にまなび創造館の展示ギャラリーで、11/22 から 11/27 まで図書館のイベントスペースで作品

を展示予定です。

続いて、報告事項(3)交通防犯マグネットについてです。前回の対策協議会でご審議いただきましたマグネットについて、委員の皆様のお手元に配布しております。前回、そもそも現物がなく、イメージがつかみづらいことで、マグネットのサイズなど様々なご意見をいただきましたので、各機関とも調整し、市において、まずは作成いたしました。所属団体さんなどで活用いただけるようでしたら、必要枚数をお渡ししますので、会議終了後お声がけください。

マグネットの普及促進については、広報に掲載したり、防犯パトロール団体に周知し、広く配布します。今後も犯罪情勢を見ながら、必要に応じて予算の範囲内でデザインの修正や追加の発注等対応してまいります。

続いて、報告事項(4)各団体の推進したい活動等についてです。前回の対策協議会で、各団体さんの推進したい活動等を記載いただくようお願いしたところ、「女性の会」さん「区長会連合会」さんに記載いただきました。

女性の会の皆様には、四季の交通安全推進期間中は、朝や夕方など啓発のために街頭監視を実施していただいています。日頃から署や市と連携し、活動いただき、ありがとうございます。今後とも引き続きよろしく願いいたします。

区長会連合会さんから、老朽看板の更新について記載いただいています。看板の維持管理は地元区にお願いしており、区からの申請で、市から支給したり、防犯パトロールの補助金で購入いただいています。今後も交通安全や防犯上の必要な箇所に看板を設置するとともに、老朽化した看板の補修又は撤去について、まずは地元区のご協力で維持運用いただければと思います。報告は以上です。

(野々川会長)

ただいま説明のありましたことについて、ご意見ご質問等がありましたら、お願いします。

(加藤委員)

交通課長から説明いただいた(4)学区別死傷者数について、北里校区が

多くなっています。交通委員やパトロールボランティアの方が登下校の時間帯に児童の見守りを行って頂いていますが、時間帯の規制を守らない車が多く、裏道として通り抜ける車も多く非常に危険なため、何か対策をお願いします。

（交通課長）

北里地区だけではなく、主要幹線道路の多い交差点につきましては、パトカーが駐留したり、警察官が巡回したりというような活動とあわせて、交通違反の取り締まり等を重点的にやっております。この表を見て多いところについては、重点的にパトカー等が入るようには指示をして、朝の通学時間帯等の児童等の通学を見守る活動や、白バイを導入して、白バイの姿を見せるというような活動を合わせてやりながら、事故を減らすよう活動しております。

（松葉口委員）

藤島方面の中日電化センターさんのある道路で、時間帯の通行止めが7時から8時半まで規制されていますが、20台ぐらいの車が通り抜けている現状があります。

（野々川会長）

本件も含め、危ない箇所の重点的な対策をお願いします。

続いて、次第2の議題「まちを安全安心にキャンペーン in 小牧」の参加者募集について、事務局から説明をお願いします。

（丹羽主幹）

議題「まちを安全安心にキャンペーン in 小牧」の参加者募集について、です。まずこちらの目的は、日没時刻が早まる時期に合わせて、反射材のついたグッズなどを参加者に配布することで、交通事故防止につなげたいという考えでございます。あわせて、ジョギングや散歩などの日常生活において、自身の安全確保を最優先の上、地域を巡回していただくことで、犯罪を未然に防ぎ、地域全体の防犯の向上を目指します。

メリットとしては、反射材を身につけることで、交通事故を未然に防ぐ

ことができる、また日常生活等で、気軽に行うことができる、また、個人または少人数で取り組みができますので、コロナ禍での感染リスクも低い。また、インターネット申し込みを行っておりますので、気軽に申し込みができます。気軽に始めることができるため、防犯パトロールに興味を持った方がおみえになりましたら、将来的にもパトロール団体に加入することなども紹介させていただきますので、自主防犯団体の裾野を広げる取組に繋がります。

対象ですが、18歳以上の小牧市民の方で、この趣旨に賛同いただける方、申し込み方法は先ほど申しましたように、24時間申込可能なインターネットを原則としておりまして、インターネットを利用できない方につきましては、来庁の上、市民安全課で申し込みができ、その際にグッズをお渡しさせていただきます。申し込みする際の内容といたしましては、住所、氏名、年齢、事前に用意したグッズの中から希望するグッズ、どのような場面でグッズを持つ予定か等です。また、自主防犯パトロール団体の加入を希望するかなどを伺う予定となっております。グッズについては、反射タスキ・緊急用ホイッスル・防犯プレート・BLTライトです。12月頃広報に掲載し、小牧市のLINEで案内したり、募集チラシなどを公共施設で配布できればと思っております。申し込みがありましたら、毎月2回程度の間隔で申し込みをしていただいた方にグッズを郵送予定です。期間は来年令和5年の2月24日までとして、実施結果を取りまとめの上、令和5年度の本対策協議会で報告できればと思っております。

【前面モニターを使用し、インターネット申込のデモを実施】

（野々川会長）

まちを安全安心にキャンペーン in 小牧について、説明いただきましたが、各委員からご発言をお願いします。

（櫻井委員）

今の説明の中で、地域の防犯パトロール団体等もグッズを使っていたくことがいいかと思いますが、その場合も、個人単位での申し込みになりますか？

（丹羽主幹）

防犯パトロール団体さんには市から補助金を交付しておりますので、まず補助金を優先的に使っていただきたく思います。本趣旨は、まず気軽に防犯パトロールをやってみようかなという方に対して、勧めているものです。なお、防犯パトロール団体の方も、個人単位でお申込みいただくことは問題ありません。

（林委員）

このキャンペーンの方針としては非常にいいと思います。また SNS、インターネットも確かに今の時代ですから、必要だと思いますが、これはやはり守りの施策でして、そこにはもう一つ攻めの施策が必要だろうと思います。さきほど話がありました防犯パトロール隊など、やはり地元に波及するためには、団体も予算がありますので、数多くということではありませんが、ある程度数を無料配布するなどの攻めの施策が重要だと思います。小牧の犯罪の中で、地域によっては変質者が多発するなど、女子寮のある会社に緊急用ホイッスルを配るなど、地域にあわせた対策を考えて貰いたい。今回のキャンペーンは、もともと関心のある方、普段から活動されている方に広がる傾向があるため、全く関心のない方々が、何かのきっかけで、こういうものがあるなということに繋がることが理想的です。交通事故は夜間に増えるため、例えば小牧地区がそうだとすればその地域の、例えば 65 歳以上又は 70 歳以上に配るなど、やはり警察と市と連携しながら、効果的な取組をお願いしたい。

それから先ほど時間帯規制にも関わらず 20 台の車が入ってくるという話がありましたが、最近テレビでもやっていますが、ナッジ理論というのがあります。大阪の商店街で自転車が非常に危険だということで、立て看板を設置しましたが、数パーセントしか自転車から降りなかった。それが、「皆さん停まっただけだと安全、安心に買い物ができます」という看板にすると、6 割の人が自転車からおりるようになったという実例があります。社会的規範を植え付ける、自分もそうしないと困ったことになるということで、自分から意識が変わり、社会に影響を与えていきます。何か規制したい時など、罰則などはあまり効果がなく、ただ皆さん協力してもらえらるからありがとうございますというような形に徐々に変わっていか

いといけないと思います。やはり時代に合ったものを入れるのはいいですが、防犯では今言った犯罪の多いところ、交通では交通事故の多いところなど調べていただいて、より効果的に普及させていくことが重要です。

（長縄課長）

例えば環境ですとごみを不法投棄しているところに、例えば神聖的なものを置いてみて、不法行為が減ったという事例もあります。特にトイレなど綺麗に使っていただいてありがとうございますなどの表示を出すなど、少しずつ意識、社会規範的を醸成していくことで、罰則などはなくとも、人の行動をある程度、心理的なところに訴えかけるなど方法は様々です。交通安全や防犯にも当然取り入れていくというのは、必要かと思っておりますので順次そういうところをやっていきたいと思います。

また攻めの姿勢が重要で、市として啓発活動がメインになるかと思しますので、いろいろな機会を設け、また警察と連携をし、データ等々情報提供を警察からいただき、効果的・重点的な取組を行っていきたいと考えております。

（加藤委員）

パトロール実施中のマグネットについて、今回どれくらいの数量作成し、どのような場所に配布するか教えてほしい。

（林交通防犯係担当）

マグネットタイプは 400 枚作成し、裏がシールになっているものが 100 枚です。配布ですが、広報に掲載したり、小牧市の LINE 等を活用して、広く市民の方に周知したいと思っております。また、80 団体以上ある防犯パトロール団体さんに周知をさせていただいて、できるだけ貼っていただくよう呼びかけたいと思います。それから防犯協会等に参加いただいている会社さん等も見えますので、協会を通じて、会社さんにも広報を予定しております。

（加藤委員）

今の説明で、一般の市民の方の分が非常に少なくなるのではと懸念して

います。大抵の自営の方は社用車があり、声をかければ、多くの方が貼っていただけたと思います。市民の方向けにたくさん配布するのが大切であり、今お集まりの委員の方で、会員に声をかければ、相当数の方が協力してくれると思います。そういうことも踏まえて、もう少し考えていただくとともに、今後の対策協議会等で配布した実績値等も示していただけたらありがたい。

（野々川会長）

委員の皆さん、貴重な発言をいただきまして大変ありがとうございました。特にご質問等もないようでございますので、議事の関係は、以上をもって終わらせていただきたいと思います。

（長縄課長）

野々川会長、進行いただきましてありがとうございました。本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございました。なお、協議会につきましては、今年度につきましては今のところ、開催の予定はございません。来年度につきましては2年に1度の改選期となりますので、またその折につきましてはよろしく申し上げます。それでは、これをもちまして第2回、小牧市交通安全防犯対策協議会を終了させていただきます。